

コース名 発達基礎理論研究コース	2018 年度回数 全10コマ+1コマ	担当者 荒木穂積
<p>講義内容・テーマ</p> <p>本コースは、最近の乳幼児期の発達研究および基礎理論と田中昌人らによって提起されてきた「可逆操作の高次化における『階層－段階』」（『階層－段階』理論と略称する）の学習をすすめます。今年度は、昨年度の乳児期前半の階層（誕生から6・7か月）の学習を踏まえて乳児期後半の階層（6・7か月から1歳ごろ）の学習をすすめます。必要に応じて幼児期の階層も取り上げます。</p> <p>前半では、人間発達の基礎の学習をすすめていきます。今年度は、テキストとして藤野友紀『発達を学ぶ発達に学ぶ——誕生から6歳までの道すじをたどる——』（全障研出版部、2014）を学習します。</p> <p>後半の前期では田中昌人の「可逆操作の高次化における『階層－段階』」理論（『階層－段階』理論と略称）に焦点をあてて学習をすすめてゆきます。テキスト『人間発達の科学』（青木書店）、『人間発達の理論』（青木書店）を学習します。</p> <p>後半の後期では田中昌人・杉恵らの『子どもの発達と診断：乳児期後半』（大月書店）および『乳児の発達診断入門』（大月書店）を学習します。</p> <p>本コースでは、エキストラとして夏期および冬期に自主学習および集中講義を計画します。人間の発達研究に大きな影響をあたえたと思われる研究者を取り上げ、直接その人の書いた著作を学習します（夏期）。また、その研究者の研究成果を集中講義で学びます（冬期）。今年度はロシアの心理学者レフ・セミョノヴィチヴィゴツキーを取り上げます。</p> <p>個人の発達の系概論コースを修了した人、若手大学院生、発達相談、保育・教育、福祉、医療などの分野で実践している人、『階層－段階』理論の実践と応用に興味をもっている人、『階層－段階』理論を再学習したい人等の参加を期待しています。</p>		
<p>授業の流れ（スケジュール・内容等の計画）</p> <p>第1回目：オリエンテーションおよび『階層－段階』理論』の概要（解説）</p> <p>(1)可逆操作の高次化における『階層－段階』理論がどのような構築されてきたか（テキスト1）</p> <p>第2-4回目：『発達を学ぶ発達に学ぶ——誕生から6歳までの道すじをたどる——』を学ぶ</p> <p>(1) 『発達を学ぶ 発達に学ぶ』の発達研究（その1）（テキスト2：第1章・第2章）</p> <p>(2) 『発達を学ぶ 発達に学ぶ』の発達研究（その2）（テキスト2：第3章）</p> <p>(3) 『発達を学ぶ 発達に学ぶ』の発達研究（その3）（テキスト2：第4章・第5章）</p> <p>第5-7回目：『階層－段階』理論を学ぶ</p> <p>(1) 発達の弁証法における矛盾（テキスト3，第Ⅱ部第2章）</p> <p>(2) 発達における可逆操作について（テキスト3，第Ⅱ部第3章）</p> <p>(3) 発達における対称性原理について（テキスト4，第4章）</p> <p>第8-10回目：乳児期後半（連結可逆操作）の階層：6・7か月から1歳ごろ</p> <p>(1) 3つの発達の質的転換期（テキスト5,6）</p> <p>(2) 生後第2の新しい力の誕生（テキスト5，6）</p> <p>(3) 階層間の移行と飛躍（テキスト5，6）</p> <p>第11回目：乳児期後半の発達の階層（回転可逆操作期の階層）振り返り：6・7か月から1歳ごろ</p>		
<p>テキスト</p> <p>(1) 田中昌人『発達研究の志』あいゆびい（発行）、萌文社（発売）、1996</p>		

- (2) 藤野友紀『発達を学ぶ 発達に学ぶ——誕生から6歳までの道すじをたどる——』(全
障研出版部,2014)
- (3) 田中昌人『人間発達の科学』(青木書店)
- (4) 田中昌人『人間発達の理論』(青木書店)
- (5) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断』乳児期後半(2巻), (大月書
店)
- (6) 田中昌人『乳児の発達診断入門』(大月書店)

参考書・ビデオなど

- (1) 田中昌人・田中杉恵『発達診断の実際』(1~8巻) DVD版, 大月書店
- (2) 田中昌人・田中杉恵『あそびの中にみる子どもたち』(1~6巻) DVD版, 大月書店
- (3) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断』乳児期前半(1巻), 大月書店
- (4) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断』乳児期後半(2巻), 大月書店
- (5) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断』幼児期Ⅰ(3巻), 大月書店
- (6) 田中昌人・田中杉恵・有田知行『子どもの発達と診断』幼児期Ⅱ(4巻), 大月書店
- (7) 京都大学教育学部第二期生有志『あの頃の大学生たち——戦後激動の「改革期」を生
きる——』(クリエイツかもがわ, 2005)
- (8) 京都大学教育学部第二期生有志『あの頃の若き旅立ち——教育・研究・生活——』(ク
リエイツかもがわ, 2006)
- (9) 田中昌人先生を偲ぶ教え子のつどい実行委員会『土割の刻——田中昌人の研究を引き
継ぐ——』(クリエイツかもがわ, 2007)
- (10) ヴィゴツキー(著)・柴田義松(訳)『新 児童心理学講義』(新読書社,2002)
- (11) ヴィゴツキー(著)・柴田義松・宮坂瑛子(訳)『ヴィゴツキー教育心理学講義』(新
読書社,2005)
- (12) ヴィゴツキー(著)・柴田義松・宮坂瑛子(訳)『ヴィゴツキー障害児・発達論集』(新
読書社,2006)
- (13) 中村和夫『ヴィゴツキー心理学完全読本——「最近接発達の領域」と「内言」の
概念を読み解く——』(新読書社,2004)

その他

本コースは、レジュメによる発表など参加型学習形式でおこないます。DVDや映画など
視聴覚教材を用いた学習も取り入れていきます。ゼミナールの中でテキストの他に関連文献
や資料を適宜紹介・配布する予定です。